

浦島説話の変遷－乙姫の正体－

文21-0732 森本彩華

目次

1. 「浦島太郎」の
あらすじ
2. 問題提起
3. 例1
『丹後国風土記』
4. 例2
『御伽草子』
5. 文献の比較
6. 乙姫の描かれ方
7. まとめ

要旨

「浦島太郎」は現代でも昔話として多くの人に知られている。この物語は中世以前には水江浦島子という名が、中世以降には浦島太郎という名が主人公の名として用いられている。前者と後者では物語内にて登場する乙姫の性質が異なっている。

本発表は古代と中世のものを中心とした14の文献から変遷を辿り、乙姫の正体を考察していく。

1. 現在知られている昔話の「浦島太郎」のあらすじ

1

子供たちにいじめられている亀を助けた浦島太郎



2

お礼に竜宮城へと招待され、乙姫に歓迎される



母に会いたくなった浦島太郎。乙姫からお土産に玉手箱を受け取り帰ることに……

3



村に帰ると数百年も経っていた！
さみしくなった浦島太郎は玉手箱を開けてしまう
すると浦島太郎はおじいさんになってしまった



2. 問題提起

グループ①

- 『日本書紀』(713年以前)
- 『丹後国風土記逸文』
(713年以降)
- 『万葉集』(716年~932年)
- 『浦島子伝』(9世紀初め頃)
- 『続浦島子伝記』(932年)
- 『本朝神仙伝』(11世紀頃)
- 『扶桑略記』(1094年以降)
- 『古事談』(1212年~1215年)

グループ②

- 『うらしま古絵巻』(室町中末期)
- 『うらしま室町末絵巻』(室町末期)
- 『御伽草子』(1716年~1736年)
- 『日本昔噺』(1916年)
- 『尋常小学国語読本巻三』
(1928年)

古代から多くの「浦島太郎」の物語があるが、
物語によって乙姫の描かれ方に違いがある



3. 例1：『丹後国風土記逸文』

水江の浦の嶼子が釣りをしていると五色の亀を得る。
亀は美しい仙女に変身し嶼子を蓬莱山へと誘った。

嶼子は蓬莱山にて3年を過ごす。そのうちに故郷に
帰り両親に会いたいという思いが湧き上がり、女に
帰郷の意思を伝える。女は嶼子に玉匣を渡した。

嶼子が帰郷すると300年もの時が経っていた。

嶼子は女との約束を忘れつい玉匣を開けてしまった。
すると、匣の中から天上の香りが空に飛び立つ。

嶼子は約束を破ったことに気付き、もう女に会うこと
は難しいのだと悟った。

4. 例2：『御伽草子』

浦島太郎が釣りをしていると一つの亀を釣り上げる。彼はその亀を海に放して助けてやることにした。

翌日、女が小船に乗って現れ自分を故郷である竜宮城まで送ってほしいと訴えてきた。浦島太郎は女を送っていくことになる……。

女と夫婦の縁を結んだ浦島太郎は竜宮城で3年を過ごす。

浦島太郎は故郷の父母に会いたいという思いから女に暇が欲しいことを告げた。女は自分の正体が彼に助けてもらった亀であることを明かし、箱を渡した。

浦島太郎が帰郷すると700年もの時が経っていた。

浦島太郎は箱を開けてしまう。するとたちまち老人となり、鶴となった。そのまま浦島太郎は蓬萊山で遊んだ。その後、丹後国に浦島の明神として現れる。そして、同じ所に現れた亀とともに夫婦の明神となった。

5. 取り扱った文献の比較

作品名	浦島との婚姻関係 (○=あり、×=なし、 △=男女の関係はあり)	玉手箱を開いた後の乙姫の登場 場面 (○=あり、×=なし)
『日本書紀』	○	×
『丹後国風土記逸文』	○	×
『万葉集』	○	×
『浦島子伝』	△	×
『続浦島子伝記』	△	×
『本朝神仙伝』	△	×
『扶桑略記』「浦島子伝」	△	×
『扶桑略記』「続浦島子伝」	△	×
『古事談』	△	×
『うらしま古絵巻』	○	○
『うらしま室町末絵巻』	○	○
『御伽草子』	○	○
『日本昔噺』「浦島太郎」	×	×
『尋常小学国語読本巻三』 「うらしま太郎」	×	×

グループ①

グループ②

6. 比較から分かる乙姫の描かれ方

グループ①の乙姫

- ・ 亀であり蓬莱山の仙女
- ・ 仙女から浦島太郎を蓬莱山に誘う
- ・ 浦島太郎との婚姻関係もしくは特別な関係あり
- ・ 浦島太郎に玉手箱を渡すものの、ひとたび浦島太郎が玉手箱を開ければ再び会いに来ることはない

グループ②の乙姫

- ・ 亀であり竜宮に住む海神の娘
- ・ 娘から浦島太郎を竜宮に誘う
- ・ 浦島太郎との婚姻関係あり
- ・ 浦島太郎に玉手箱を渡し、ひとたび浦島太郎が玉手箱を開けても再び会いに来る

7.まとめ

●グループ①②の共通点

- ・浦島太郎への積極的なアプローチ
- ・浦島太郎との特別な関係あり



●グループ①②の相違点

①

浦島太郎が玉手箱を開けると
もう一度会いには来ない



浦島太郎への執着心が無く薄情

蓬莱山の仙女の
イメージ

②

浦島太郎が玉手箱を開けても
もう一度会いに来る



浦島太郎への強い執着心がある

海神の娘の
イメージ

以上から、乙姫には2種類のイメージがあると推察される